

2.3 関心ごとと行動範囲について

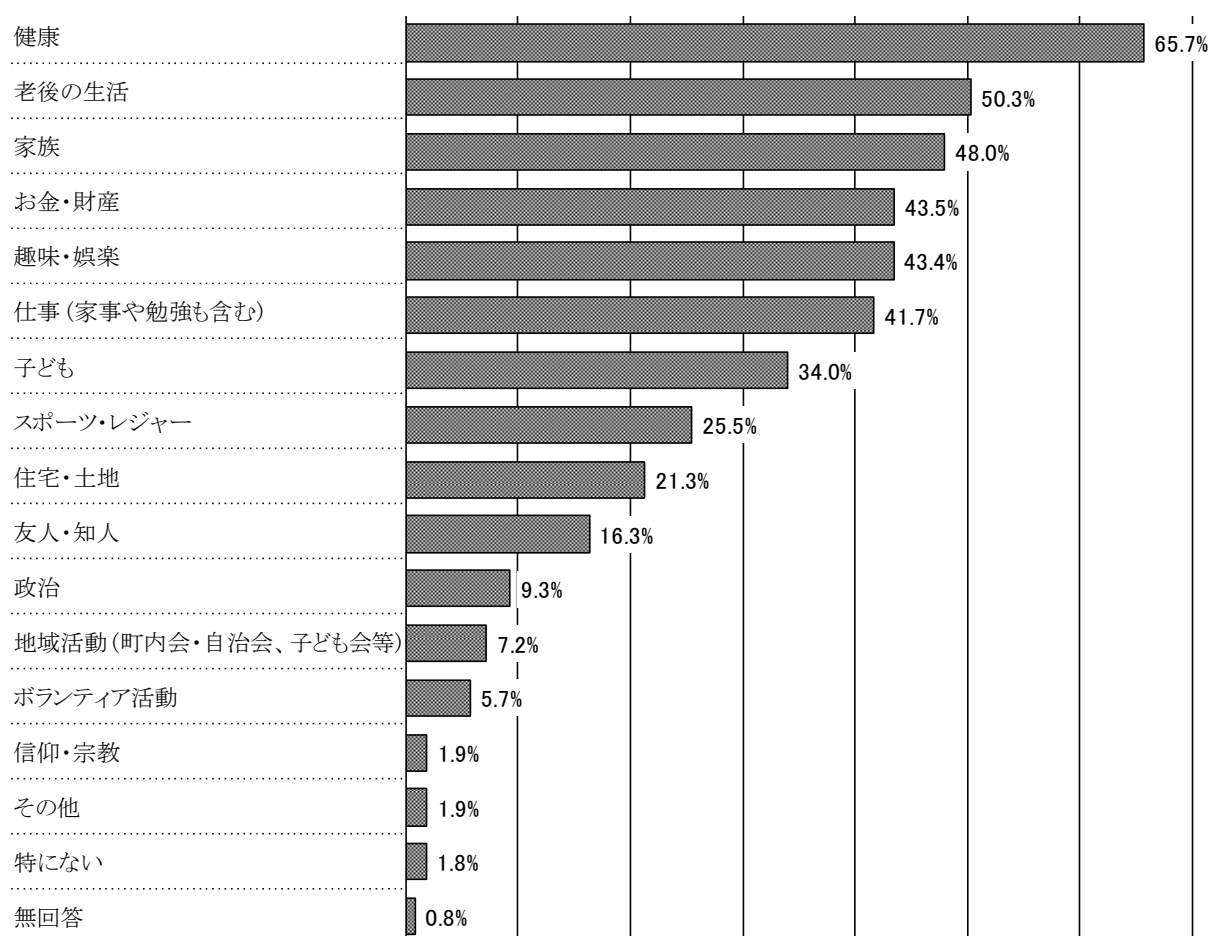
(1) 関心を持っていること

問. あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(複数回答)

現在特に関心を持っていることを選んでもらったところ、「健康」(65.7%)が最も高く、次いで「老後の生活」(50.3%)、「家族」(48.0%)、「お金・財産」(43.5%)、「趣味・娯楽」(43.4%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(41.7%)、「子ども」(34.0%)の順であった。

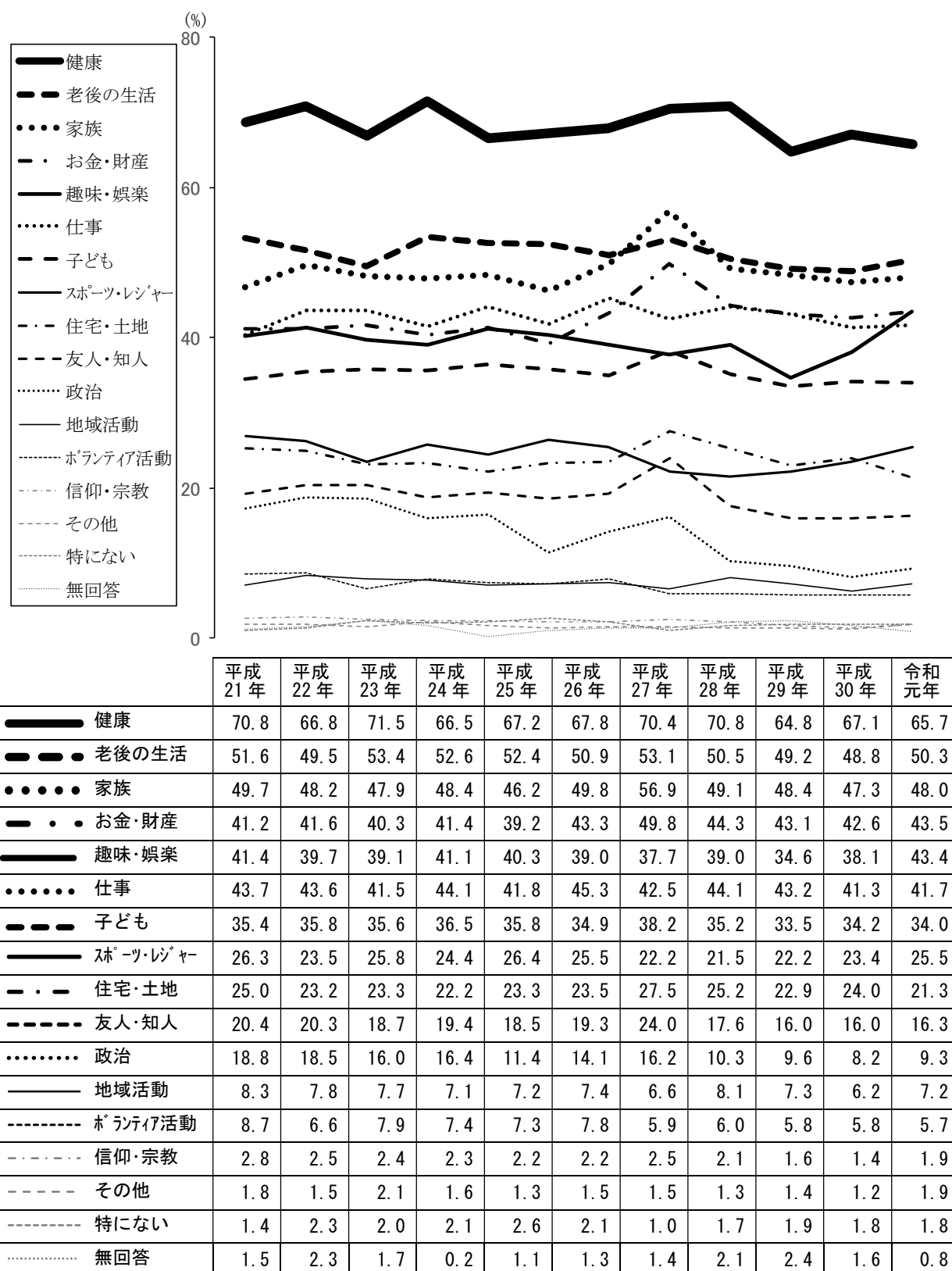
【図表 83】 関心を持っていること

複数回答 (n=1,567)



平成 21(2009)年度からの推移をみると、「健康」が最も高く、これに「老後の生活」と「家族」を加えた 3 項目が、常に関心度上位 3 項目であった。

【図表 84】 関心を持っていること(経年比較)



性／年齢別で見た場合、「健康」は、男性の60歳以上と女性の50歳以上の年代で7割を超えた。

【図表 85】 関心を持っていること(性／年齢別)

	全体	男性						
		計	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ベース: 全対象者	(1,567)	(659)	(70)	(92)	(122)	(124)	(123)	(122)
健康	65.7%	61.3%	32.9%	54.3%	56.6%	58.9%	73.2%	79.5%
老後の生活	50.3%	46.7%	10.0%	31.5%	32.8%	56.5%	71.5%	59.0%
家族	48.0%	44.5%	27.1%	50.0%	51.6%	49.2%	37.4%	45.1%
お金・財産	43.5%	39.3%	50.0%	64.1%	48.4%	37.9%	30.1%	16.4%
趣味・娯楽	43.4%	41.1%	60.0%	47.8%	52.5%	33.9%	27.6%	32.8%
仕事(家事や勉強も含む)	41.7%	38.8%	50.0%	52.2%	48.4%	51.6%	27.6%	12.3%
子ども	34.0%	28.4%	15.7%	51.1%	46.7%	26.6%	15.4%	15.6%
スポーツ・レジャー	25.5%	28.1%	32.9%	40.2%	28.7%	32.3%	17.1%	22.1%
住宅・土地	21.3%	20.0%	17.1%	31.5%	21.3%	21.0%	19.5%	11.5%
友人・知人	16.3%	12.4%	25.7%	14.1%	14.8%	6.5%	9.8%	9.0%
政治	9.3%	11.1%	7.1%	12.0%	5.7%	8.9%	15.4%	16.4%
地域活動(町内会・自治会、子ども会等)	7.2%	7.0%	4.3%	5.4%	6.6%	8.1%	8.9%	7.4%
ボランティア活動	5.7%	4.2%	0.0%	3.3%	3.3%	3.2%	6.5%	6.6%
信仰・宗教	1.9%	2.3%	1.4%	2.2%	0.8%	2.4%	4.1%	1.6%
その他	1.9%	2.0%	2.9%	3.3%	2.5%	0.8%	1.6%	1.6%
特にない	1.8%	1.8%	1.4%	0.0%	1.6%	3.2%	0.8%	3.3%
無回答	0.8%	1.5%	1.4%	0.0%	2.5%	1.6%	0.8%	2.5%

	全体	女性						
		計	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ベース: 全対象者	(1,567)	(883)	(106)	(181)	(168)	(175)	(105)	(135)
健康	65.7%	69.3%	39.6%	67.4%	69.0%	77.7%	79.0%	77.8%
老後の生活	50.3%	53.1%	18.9%	33.1%	50.6%	69.1%	80.0%	70.4%
家族	48.0%	51.0%	39.6%	58.0%	59.5%	52.0%	39.0%	48.9%
お金・財産	43.5%	46.9%	53.8%	61.3%	53.6%	41.1%	38.1%	28.1%
趣味・娯楽	43.4%	45.5%	58.5%	52.5%	46.4%	41.1%	39.0%	37.8%
仕事(家事や勉強も含む)	41.7%	43.6%	53.8%	58.0%	60.7%	38.9%	25.7%	13.3%
子ども	34.0%	38.4%	22.6%	65.7%	60.7%	27.4%	17.1%	17.8%
スポーツ・レジャー	25.5%	24.2%	29.2%	26.0%	28.0%	26.9%	16.2%	15.6%
住宅・土地	21.3%	22.3%	17.9%	35.9%	23.2%	20.6%	12.4%	17.8%
友人・知人	16.3%	19.4%	29.2%	22.1%	16.1%	15.4%	14.3%	23.0%
政治	9.3%	7.9%	4.7%	3.3%	8.9%	5.7%	12.4%	14.8%
地域活動(町内会・自治会、子ども会等)	7.2%	7.6%	1.9%	9.9%	4.2%	4.6%	10.5%	14.8%
ボランティア活動	5.7%	6.9%	3.8%	5.0%	2.4%	6.9%	10.5%	15.6%
信仰・宗教	1.9%	1.7%	0.9%	0.0%	1.2%	2.9%	3.8%	2.2%
その他	1.9%	1.7%	0.9%	2.8%	1.2%	2.3%	0.0%	2.2%
特にない	1.8%	1.7%	0.9%	2.2%	0.0%	2.9%	1.9%	2.2%
無回答	0.8%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%

(2) 行動範圍

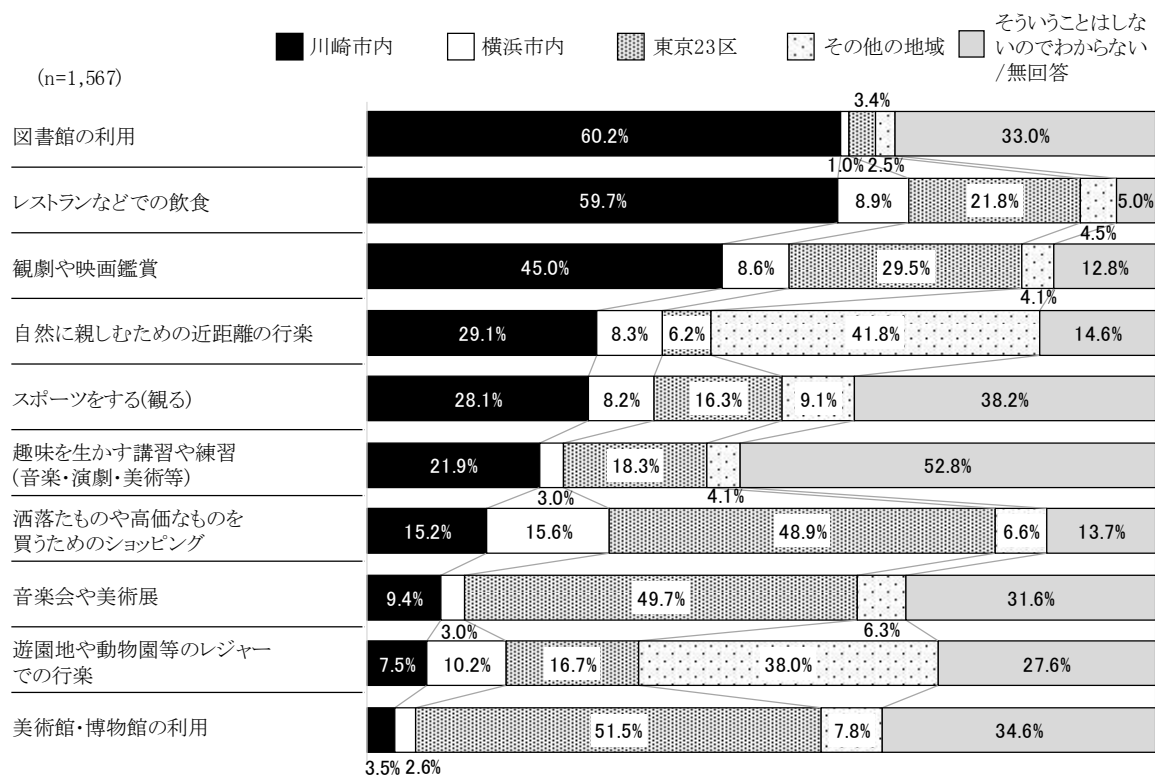
問. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」(60.2%)で、次いで、「レストランなどでの飲食」(59.7%)、「観劇や映画鑑賞」(45.0%)の順であった。

『川崎市内』以外で利用率が高いのは、『東京23区』の「美術館・博物館の利用」(51.5%)、「音楽会や美術展」(49.7%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(48.9%)であった。

上記以外について、「自然に親しむための近距離の行楽」と「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」では『その他の地域』が、それぞれ41.8%、38.0%で最も高く、「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」と「スポーツをする(観る)」では『そういうことはしないのでわからない／無回答』が、それぞれ52.8%、38.2%で最も高かった。

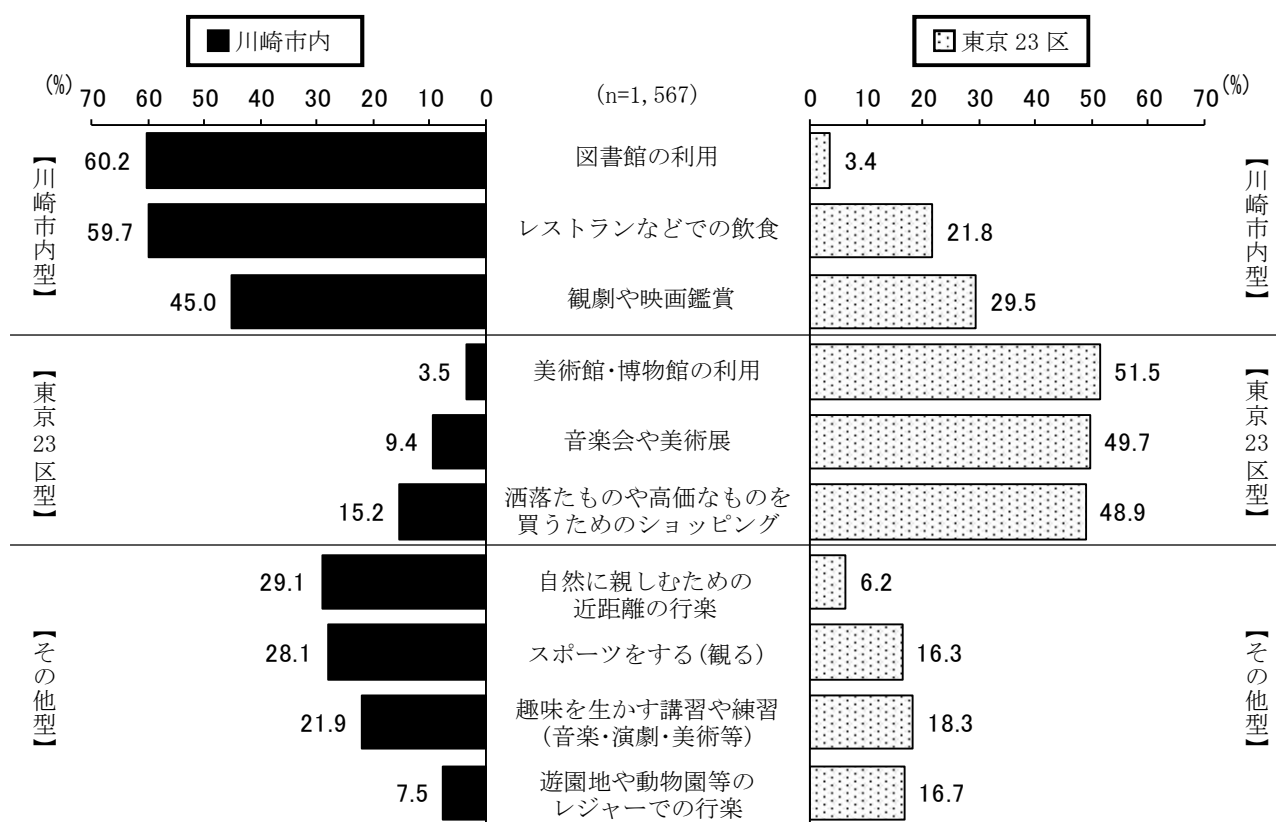
【図表 86】 行動範囲



各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【その他型】に分類すると、以下のようになる。

- 【川崎市内型】 図書館の利用
レストランなどでの飲食
観劇や映画鑑賞
- 【東京23区内型】 美術館・博物館の利用
音楽会や美術展
洒落たものや高価なものを買うためのショッピング
- 【その他型】 自然に親しむための近距離の行楽
スポーツをする(観る)
趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)
遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

【図表 87】 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較)

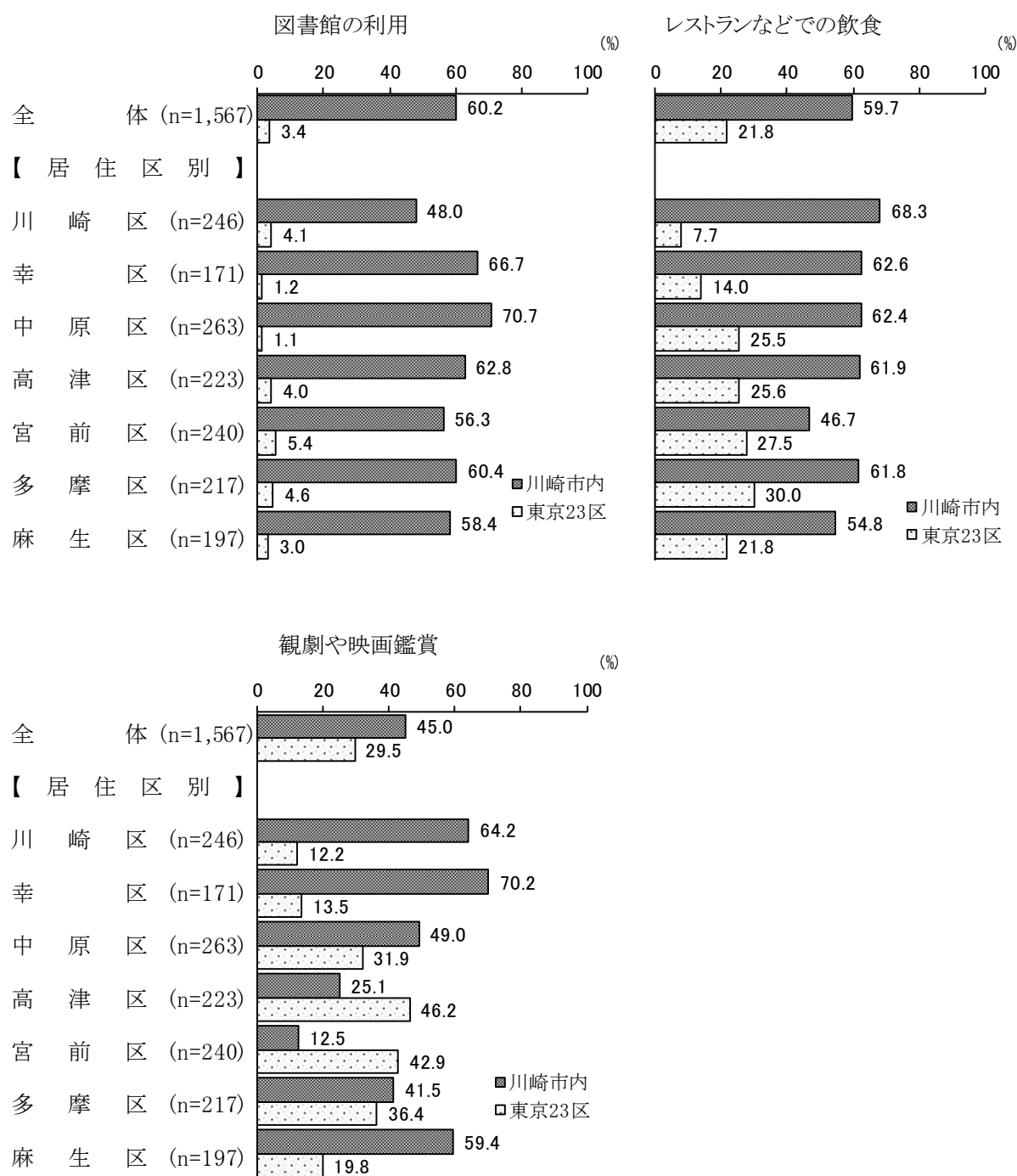


【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区(70.7%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満であった。

「レストランなどでの飲食」は、川崎区(68.3%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区(30.0%)が最も高かった。

「観劇や映画鑑賞」について、『川崎市内』での利用率は、幸区(70.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(46.2%)が最も高かった。

【図表 88】 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別)【川崎市内型】

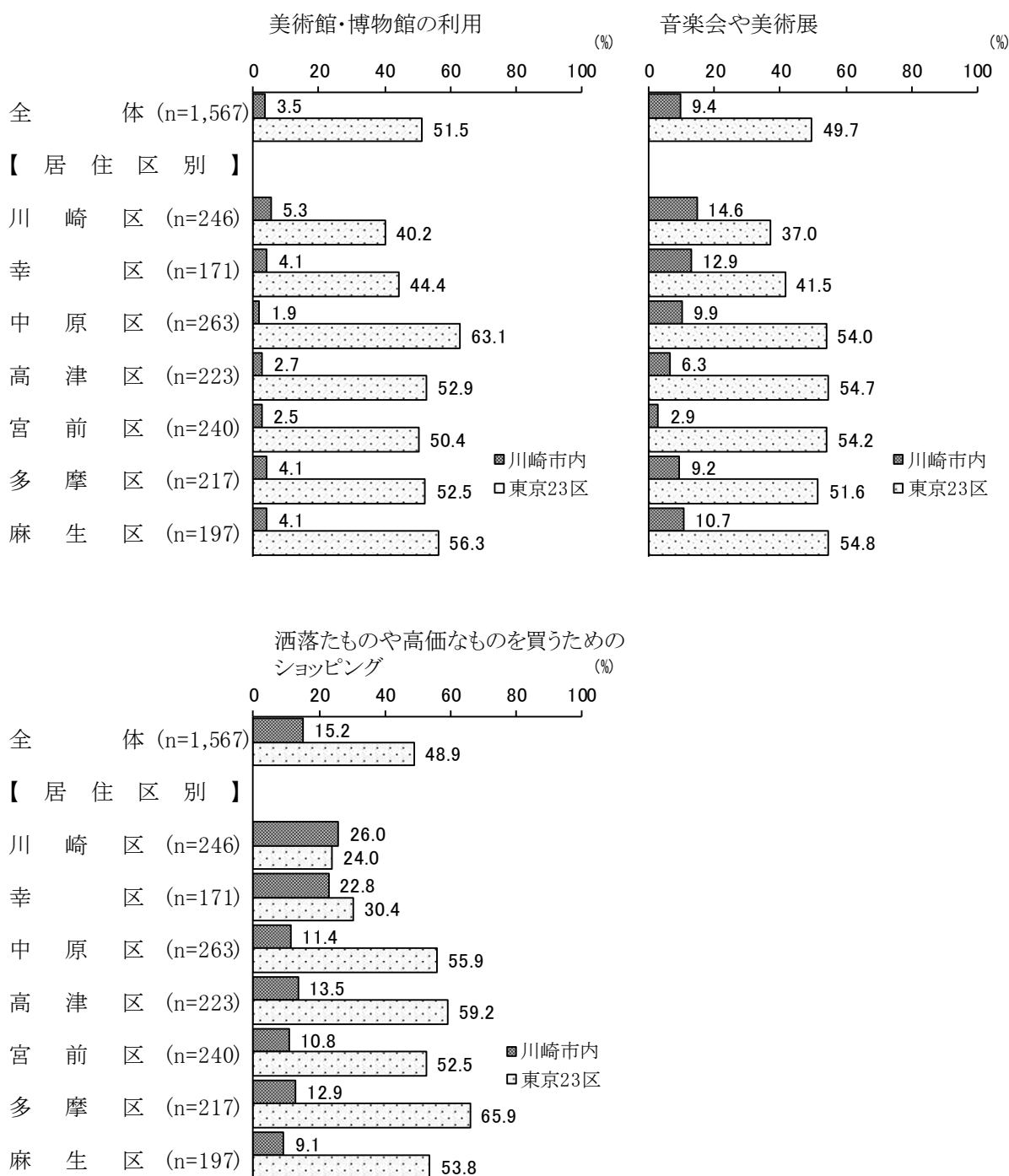


【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、中原区(63.1%)が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満であった。

「音楽会や美術展」は、麻生区、高津区、宮前区、中原区が54%台でほぼ同程度と高かった。『川崎市内』での利用率は、川崎区(14.6%)が最も高かった。

「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は多摩区(65.9%)が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区(26.0%)が最も高かった。

【図表 89】 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別)【東京23区内型】



【川崎市内型】と【東京23区内型】に分類されない『その他の地域』もしくは『そういうことはしないのでわからない／無回答』の回答率が高い【その他型】4項目を居住区別で比較すると、「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区(39.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの区においても1割程度以下であった。

「スポーツをする(観る)」について、『川崎市内』での利用率は、中原区(32.7%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区(22.1%)が最も高かった。

「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区(27.4%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区(24.4%)が最も高かった。

「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」について、『川崎市内』での利用率は、多摩区(12.9%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、中原区(22.8%)が最も高かった。

【図表 90】 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別)【その他型】

